

杉木立に包まれたふるさと

東金の一番北は、緑濃い山林に囲まれています。杉の大樹が茂る三社神社、山懐に抱かれた昔ながらの農家を眺めれば、明治の模範村とされた往時がしのべれます。その頃から源は林業が盛んな地域でした。訪れる人々の目を驚かせるほど、見事に育った山武杉。自然の与えてくれるかけがえのない財産が、伝統産業を今も支えています。

源

MINAMOTO

建築用の高級木材として、山武杉の人氣は衰えることを知りません。地域の資源を生かし、コシナラの木を使ったシイタケ栽培も盛んに行われています。また、極楽寺は県内有数のわけぎの産地で、東金の特産物として広く出荷されています。山を育て、土を慈しんで暮らす人々が、質の高い産物を育て、心なごむ美しい風景も守り続けているのです。

明治の模範村「源村」

明治後期、日本は日清戦争によって国力が低下していました。そこで明治政府は、国力を回復させようと地方改良運動を推進し、さらに全国の模範となるような農山漁村をいくつか選び、表彰を行いました。源村は、村民が協力して村の財政再建に成功したことなどが紹介されています。また、明治36年(1903)に内務大臣や地方長官が視察に訪れ、源村はますます全国へ知れ渡りました。明治38年(1905)には、内務省が源村、宮城県生田村、静岡県稲取村の三か村を選んで三模範村とし、英文パンフレットで海外にも紹介され、記録映画も作られました。



稲作作業を描いた三社神社絵馬

(市指定有形民俗文化財)

高札形の松板で作られ、縦132センチメートル・横214センチメートル・中央部の高さ146センチメートルと大型の絵馬です。稲作作業の過程が、田起し・種まき・代かき・田植え・草取り・稲刈り・脱穀・選別・もみすり・俵かがり・蔵入れの順に描かれ、彩色されています。下段が水田に入って作業している風景、中段と上段が収穫作業のようすで、人物40名、馬2頭が登場しますが、その後、慶応2年(1866)に修復され再び掲げられました。こうした産業絵馬は市内では1枚のみ、県下でも珍しいもので、この地方の江戸時代の生活を知る貴重な資料です。



1 薬王寺

Yakuoji Temple



薬王寺は顕本法華宗の寺で、漢方薬を作っていたため「布田の薬師様」「布田の目薬」などの愛称で、県内外にまで広く親しまれてきました。ここで、毎年9月7日と8日に「大施餓鬼会」が行われます。施餓鬼とは、飢えに苦しんで災いをする鬼や無縁の亡者の霊に、飲食を施すことです。とくに昭和の始めごろ(1930年頃)は大変な人出でにぎわい、一晩中寺のまわりで歌やおどりに夢中になったといわれています。

ほかにも、境内では菊の御紋章入りの「天水受」、本堂欄間の龍の彫刻をはじめとする貴重な彫刻などを見ることができます。

2 野馬土手

Nomabank

下総国は昔から馬の飼育が盛んで、江戸時代には馬の放牧のためいくつもの野馬土手がつくられました。野馬が外に出るのを防ぐため、原野を土手で囲ったところは「牧」と呼ばれ、佐倉7牧では合わせて3800頭もの野馬が飼育されていたといわれています。そのうちのひとつ小間子牧は、現在の東金市(源地区)・八街市・千葉市・山武町にまでおよぶものでした。小間子牧には縦90メートル・横60メートルの捕込場があり、ここで毎年一回、野馬の捕獲作業が行われ、周辺の村人にとって大きな催しとなっていたそうです。現在は宅地開発などが進んだため、小間子牧はほとんど残っていません。

3 乗師堂

Joshi-do hall

布留川家の屋敷内にある円蔵寺には、日乗上人の木像がまつられている乗師堂があります。東金の生んだ名僧・日乗上人は、円蔵寺を訪れて村人に仏の道を説き、しばらく滞在したことがありました。それを記念して建てられたのが乗師堂です。一説によると日乗は、父の市東刑部左衛門(p.74参照)が反逆の罪に問われたとき、縁続きの布留川家にかくまわれたとも言われています。布留川家の屋敷は小高い台地上にあり、周囲には日乗が隠れたと伝わる「乗師堀」が巡らされています。中近世は「酒蔵城」と言われていました。



Surrounded by cedars

The northernmost part of Togane is a hilly area surrounded by lush green forests. If you look out from among the giant cedars at Sanja Shrine, you will see a pastoral scene that has remained relatively unchanged. For countless years, forestry has flourished in Minamoto. The most impressive sight for visitors may well be the wondrous Sambu cedars.

The excellent wood of the Sambu cedar, which is used in construction, will never go out of style. Another important tree here is the Japanese oak, which is used in the cultivation of shiitake mushrooms. The area around Gokurakuji district grows Welsh onions that are shipped all over the country.